## 令和6年度 施策の目標設定

## 基本目標 『未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり』

基本目標を実現させる4つの目	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
標 1) 心豊かな たくましい子 どもの育成を 支援します 【子ども】	(1) 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進(担当課等)幼稚園 (2) 「生きる力」を育る力」を有性と、「生きる力」を有い、「生きる力」を対し、「生きる力」を対し、「生きる力」を対して、またる。」を対して、「生きる力」を対して、またる。」を対して、「生きる力」を対して、またる。」を対して、またる。	①幼児教育の充実と特色ある幼稚 園づくりの推進	「子どもが幼稚園 の生活を楽しんで いる」と感じてい る保護者の割合	100%
		②幼稚園と保育所の横の連携と小 学校とのなめらかな接続の推進	相互授業参観や幼 児の交流、合同研 修会、情報交換会 の実施回数	年10回
		③幼稚園における子育て支援体制 の充実	子育てに関する情報提供の回数	年180回
		①基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成	県標準学力検査で 県平均を達成した 割合 (各学年・各教科)	小学校85% 中学校80%
		②規範意識の醸成と豊かな情操や 道徳心の育成	地域や保護者に道 徳の授業を公開したり、道徳に関する情報を発信したりした学校の割合	100%
			「挨拶がよくでき る」児童生徒の割 合	90%
		③心身の健康の保持増進と体力向 上に関する指導の充実	食に関する指導を 2時間以上実施し た学級の割合	100%
			全国体力・運動能力、運動習慣等調	小学5年生60%
			査による「運動が 好き」な児童生徒 の割合	中学2年生 55%
		④一人ひとりの自立を育む生徒指 導の充実	各小中学校の生徒 指導会議の回数 (年間)	小学校10回 中学校35回
		⑤教育相談体制及び不登校等の子 どもへの支援の充実	学校内外の機関等 で相談・指導を受 けていない不登 校児童生徒の割 合	0%
		⑥一人ひとりの能力や可能性を伸 ばす特別支援教育の充実	特別支援教育校内 委員会の開催回数	(1校当り) 年11回
		⑦伝統文化や郷土を学ぶ教育の推 進	博物館等を活用した授業の回数	(1校当り) 年10回

基本目標を実現 させる4つの目 標	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
1) 心豊かなたくますではものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(3)社会の変化に 対応する学校教育 の推進 (担当課等) 学校教育課 総合教育センター	①探究型の学力を育む読書教育の 推進	児童生徒一人あた りの学校図書館年 間図書貸出冊数	小学校70冊 中学校23冊
			調べる学習コンク ールへの参加率	児童生徒の 70%
		②情報活用能力を育む情報教育の 推進	週5時間以上タブ レットPCを活用し た学級の割合	100%
			情報モラルの指導 を実施した学級数	100%
		③社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育の推進	キャリア教育を2 時間以上実施した 学級の割合	100%
		④コミュニケーション能力を育む 外国語教育の推進	外国語指導助手 (ALT)の年間活用 授業数(1学級あ たり)	小3・4年生 年35時間 小5・6年生 年70時間 中学生 年35時間
	(4)学校の教育力 の向上 (担当課等) 学校教育課 総合教育センター	①教職員の指導力の向上	教育センター主催 研修会の参加者数	1講座当り 15人
		②学校間の連携の推進	相互授業参観、合 同研修会、情報交 換会の実施回数	1校当り 年6回
		③教職員が子ども一人ひとりと向き合える環境づくり	教職員意識調査で 「一人ひとりの子 どもにつく時間が 確保できた」と感 じる教職員の割合	100%
		④地域に開かれた魅力ある学校づ くりの推進	学校のホームペー ジを年間24回以 上更新した学校の 割合	100%
			学校自己評価を公開した学校の割合	100%
	(5)安全・安心で 質の高い教育環境 の整備	①安全・安心な教育環境の維持管理	施設整備の不備に よる事故件数	
	(担当課等) 教育総務課 総合教育センター 学校給食センター			0件

基本目標を実現 させる4つの目 標	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
1) 心豊かな たくましい子 どもの育成を 支援します 【子ども】	(5)安全・安心で 質の高い教育環境 の整備 (担当課等) 教育総務課 総合教育センター 学校給食センター 学校教育課	②子どもの安全を守る方策の強化 と活用	各小中学校における不審者対応訓練 の実施率	100%
		③安全・安心な学校給食の充実	食中毒や食物アレ ルギー等の事故件 数	0件
		<ul><li>④時代の変化に対応した質の高い 教育環境の整備</li></ul>	教材活用や資料価値のある図書や資料を整え、学校図書館図書標準を達成した学校数	1 2校
			工事の進捗率	100%
		⑤教育機会均等の確保	奨学金制度の周知 回数	年2回広報及 びHPに掲載
2) 人生100 年時代に向 け、だれもが	(1) 一人ひとりの 学びを支える生 涯学習の充実 (担当課等) 公民館 図書館	①市民の学習機会の提供と情報の 発信	公民館のホームペ ージ等の更新回数	各館年50回
かがやける学 びを支援しま			図書館で開催する 講座の実施回数	年11回
生涯学習】		②市民に親しまれる図書館活動の 充実	市民一人当たりの 貸出点数	年8.4点
	(2)家庭と地域 の教育力の向上 (担当課等) 生涯学習課 公民館 図書館 (3)つながり、支育 の大会教育 の大会教育 を対する。 (担選学) 生涯学別 生涯館 教育総務課	①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育学級延べ 受講者数	800人
		②子ども読書活動の推進	おはなし会の年間 実施回数	460回
			子ども読書活動推 進会議の回数	1回
		③地域の教育力の向上	青少年教育推進事 業の実施回数	年62回
			放課後子供教室運 営ボランティア参 画人数	40人
		①誰もが主体的に学ぶことができ る社会教育活動の推進	地域人材育成講座 の開設数	5講座
			市民三学大学講座 の開催回数	2回
		②社会教育関係団体の活動への支援	利用者懇談会の実 施回数	各館 1回以上
		③学びを支える地域人材の育成と 活動の促進	生涯学習ボランティア数(社会教育推進員、ユース・保育ボランティア・アドバイザーバンク登録者)	130人
		④社会教育施設の環境整備	定期的な施設点検	月1回

基本目標を実現				
させる4つの目	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
標 3) ライフスタ イルに応じた	(1) 市民誰もが、いつでも、どこでも、		市又は総合型地域 スポーツクラブが	
スポーツンでである。「スポーツでは、アン・シーグ・スプリンでである。」「スポーツでは、アン・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シーグ・シー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	いつまでもスポーツ・ レクリエーションに 親しめる環境の整備 (担当課等) スポーツ振興課	①スポーツ・レクリエーション関係団体等との協働 (「する」「みる」「ささえる」)	主催する市民参加型スポーツ・レクリエーションイベントの総参加者数(内訳 ウォーキンクフェスタ1,000人 その他500人 交流大会・スポレク祭・スポーツフェスタ 他)	1,600人
		②市民の健康づくり・生きが いづくり	身近にスポーツ・レ クリエーションを 行う場・機会がある 思う市民の割合	65%
	(2) スポーツ・ レクリエーション施設 の環境整備 ( <b>担当課等</b> ) スポーツ振興課	①スポーツ・レクリエーション施設の適切な維持管理・ 改修・整備の実施	スポーツ施設利用 者数 ※対象施設は、社会 体育施設【公園施設 (百目木公園・神栄	190, 000人
		②スポーツ・レクリエーション施設の利用促進	公園テニスコート・ 神納あさひ公園テ ニスコート)は含ま ない】	
	(3) スポーツツーリズ ムの推進 <b>(担当課等)</b> スポーツ振興課	①各種公式戦やスポーツ大 会・イベント等の誘致の推進	開催支援、誘致、協力した大会の動員数	20,000人
		②市内の社会体育施設を活 用したスポーツ合宿の誘致	開催支援、誘致、協力した大会の回数	10回
		等の推進	市外団体の合宿誘 致の回数	10回
4) 文化財に親しみ、文化芸術を楽しむ場を楽しむます【文化財・文化財・文化芸術】	(1)郷土の歴史 と文化を学び、伝え る活動の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	①国史跡山野貝塚の保存・研 究・活用	山野貝塚体験会等 参加者数	40人以上
			山野貝塚ボランティア登録数	24人
		②文化財の保存・活用	指定文化財調査件 数	年3件
		③無形民俗文化財の保護と 継承	民俗行事等周知回 数	年4回
			上総掘り体験会開 催数	年1回
		④市民とともに歩む博物館 活動の充実	協働事業の実施回 数	年8回
	(2)地域に根差した文化芸術活動	①文化芸術振興のための市 民活動の支援	文化芸術活動団 体事業後援件数	30件
	の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	②文化芸術鑑賞機会の充実	袖ケ浦美術展入 場者数	2,750人